

清水明教授（退職教員）主要業績一覧

① 主な著作・翻訳

『読みの軌跡—英米文学試論集』共著（弓書房，昭和63年11月），「モームの短篇小説にみる生と死と—『ハリントン氏の洗濯物』と『サナトリウム』を中心に」の章を執筆。

Jane Austen 著『美しきカサンドラ—ジェイン・オースティン初期作品集』共訳（鷹書房弓プレス，平成8年7月）

Jane Austen 著『サンディトーン—ジェイン・オースティン作品集』共訳（鷹書房弓プレス，平成9年11月）

Charlotte Brontë 著『秘密・呪い—シャーロット・ブロンテ初期作品集 I』共訳（鷹書房弓プレス，平成11年10月）

『旅するイギリス小説』共著（ミネルヴァ書房，平成12年3月），「海に出る二人のヒーロー—デフォーとスウィフトの場合」の章を執筆。

『概説イギリス文化史』共著（ミネルヴァ書房，平成14年4月），「はばたくメディア—ジャーナリズムと出版の進展」の章を執筆。

『ジェイン・オースティンの世界』共編（訳）著（鷹書房弓プレス，平成15年12月）

Anthony Trollope 著『電信局の娘—アントニー・トロロープ短編集 I』共訳（鷹書房弓プレス，平成16年8月）

『ガリヴァー旅行記—シリーズもっと知りたい名作の世界』共編著（ミネルヴァ書房，平成18年8月）

『〈私〉の境界—20世紀イギリス小説にみられる主体の所在』共著（鷹書房弓プレス，平成19年3月），「破滅に向う芸術家の輝き—『月と六ペンス』再読」および「『私』がビルマ体験で見たもの—ジョージ・オーウェルの『絞首刑』と『象を撃つ』をめぐって」の2章を執筆。

Anthony Trollope 著『ピラミッドにきた女—アントニー・トロロープ短編集 II』共訳（鷹書房弓プレス，平成20年11月）

『〈平和〉を探る言葉たち—20世紀イギリス小説にみる戦争の表象』共著（鷹書房弓プレス，平成26年3月予定），「戦場の兵士に愛された小説—モーム『剃刀の刃』における読者の受容をめぐって」の章を執筆。

② 主な論文

「『穏当なる提案』の意味」（『立教レビュー』第5号，立教大学文学部英米文学科，昭和51年3月）

「諷刺とアイロニー—ジョナサン・スウィフト覚え書き(1)~(8)」（『隕石』第90号~98号，隕石詩社，昭和52年4月~12月，ただし96号を除く）

「『ペスト年代記』にみられるデフォーの語り方について」（『かいろす』第3号，昭和55年10月）

「『自負と偏見』にみるベネット氏の役割」（『小説研究』第2号，『小説研究』編集グループ，

昭和59年1月)

「サマセット・モームの『お菓子とビール』について」(『文化紀要』第23号, 弘前大学教養部, 昭和61年3月)

「モーム再考—『劇場』をめぐって」(『英米文学』第57号, 立教大学文学部英米文学教室, 平成9年3月)

「『ランベスのライザ』をめぐって」(*Cap Ferrat* 第6号, 日本モーム協会, 平成21年3月)

「『大佐の奥方』における主人公の愛人をめぐって」(*Cap Ferrat*, 第10号, 日本モーム協会, 平成25年3月)

「サマセット・モームの『変わり種』における異質なる者をめぐって」(『人文科学論集』第48号, 信州大学人文学部, 平成26年3月予定)

③ その他 (各セクション主なもの)

(研究報告)

「埋れていた翻訳書」(*Cap Ferrat* 第8号, 日本モーム協会, 平成23年3月)

(事典等)

『たのしく読めるイギリス文学』共著 (ミネルヴァ書房, 平成6年2月), 各作家・作品を分担執筆。

Paul Poplawski 編著『ジェイン・オースティン事典』共訳 (鷹書房弓プレス, 平成15年6月), 各項目を分担訳。

『英語文学事典』共著 (ミネルヴァ書房, 平成19年4月), 各項目を分担執筆。

(書評)

杉恵惇宏編著『誘惑するイギリス』(大修館) (『英語教育』第48巻6号, 平成11年)

(コラム等)

「女流『新人作家』の作品をめぐって」, 「Jane Austen ブームの背景」, 「ある TV Adaptation をめぐって」, 「ブッカー賞をめぐって」(『英語青年』1767号・平成8年5月, 1770号・平成8年8月, 1773号・平成8年11月, 1776号・平成9年2月), 同誌「海外新潮」欄のイギリス文学部門を担当。

(シンポジウム)

「Maugham と Greene—物語作家たちの魅力を探る」(日本英文学会中部地方支部 第48回大会, 信州大学人文学部, 平成8年10月), 司会及び講師。

(講演)

「Maugham の Theatre における演劇人の生態について」(立教英米文学会講演会, 立教大学, 平成7年12月)

「映画 *Quartet* をめぐって」(日本モーム協会例会, 東洋大学, 平成19年1月)